



3年学年だより

発行日：令和3年4月30日（金）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

学校長：遠藤 広樹 NO. 1

令和3年度を迎えて

校長代理 富樫 哲一

新年度が始まり、約1か月が経ちました。この4月は学校生活で何をするにしても、「新学年最初の～」ということになるため、心地よい緊張感やこれから始まる1年間に対する大きな期待を感じながら日々過ごしてきたのではないのでしょうか。特に1年生は「中学校生活最初の～」ということになるので、そうした緊張感や期待感をさらに強く感じたことでしょう。

改めまして、白田淳子校長代理の後任として着任いたしました富樫 哲一（とがし のりかず）です。前任校は横浜サイエンスフロンティア高等学校です。生徒の皆さんと同様に、何をするにも「着任後、最初の～」となり、これからの1年間のことを想像すると、校長代理として身が引き締まる思いと、大きな期待感でいっぱいです。どうぞよろしく願いいたします。

さて、最初の学年だよりでは、私が大切にしている言葉を皆さんに紹介したいと思います。

汝、何の為に其処に在り也 （なんじ なんのために そこに ありや）

これは、私の母校（高校）の元校長先生が、生徒たちへの講話の締め言葉として常々使っていたものだそうです。当時の先輩たちの心にあまりに強く響いたため、今でも生徒たちに代々引き継がれています。

意味は「今自分は何をするためにそこにいるのか」です。その元校長先生は、「いつ」「どんな時に」「どこで」「誰に」この言葉を問いかげられたとしても、即座に断言できるような自覚ある生活をしてほしいという願いを込めて生徒に伝えていたとのことでした。

私も高校生のときに「汝、何の為に其処に在り也」という言葉に出会ってから、日常生活において、ことあるごとにこの言葉を自己に問いかけながら生活をしてきたつもりです。

その結果として、

- ・周りに流されず、主体的に物事に取り組む。
- ・目的意識を明確にして行動する

ことが、完全ではないですが、自分では納得できるレベルではできてきたように感じています。

人に与えられた時間は限られています。中学校、高等学校を合わせても6年間しかありません。その与えられた時間を有効かつ有意義に使うためにも、南高等学校附属中学校の生徒の皆さんともこの言葉を共有できればともうれしく思います。

保護者の皆様、いよいよ新年度がスタートいたしました。コロナ禍ではありますが、生徒たちは気持ちを新たにしながら、ひるむことなくそれぞれの一步を力強く踏み出せたように思います。将来的に生徒全員が自己実現が可能となるように、教職員が心一つにして教育活動に取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

学級、教科の先生を紹介します!

※斜体字は高校の先生です。

	3年1組	3年2組	3年3組	3年4組
担任	海崎 隆徳	三井 俊文	茂木 瑠香	中山 優
副担任	下村 ゆりか	石井 温子	蛭田 真生	石井 温子
国語	海崎 隆徳	石井 温子	海崎 隆徳	石井 温子
社会	三井 俊文	三井 俊文	三井 俊文	三井 俊文
数学	茂木 瑠香 中山 優 篠原 哲	中山 優 茂木 瑠香 青木 由紀	茂木 瑠香 中山 優 篠原 哲	中山 優 茂木 瑠香 篠原 哲
理科	蛭田 真生 内田 拓馬	蛭田 真生 内田 拓馬	蛭田 真生 内田 拓馬	蛭田 真生 内田 拓馬
音楽	岩田 正満	岩田 正満	岩田 正満	岩田 正満
美術	平野 正雄	平野 正雄	平野 正雄	平野 正雄
保健体育	小野寺 啓司 間宮 英美 粟ヶ窪 喜一	小野寺 啓司 間宮 英美 粟ヶ窪 喜一	深谷 きらら 間宮 英美 高橋 弘大	深谷 きらら 間宮 英美 高橋 弘大
技術	大越 重信	大越 重信	大越 重信	大越 重信
家庭	菊池 智美 島袋 十和子	菊池 智美 島袋 十和子	菊池 智美 島袋 十和子	菊池 智美 島袋 十和子
英語	下村 ゆりか 佐藤 貴弘 <i>Heidi Kershaw</i>	下村 ゆりか 佐藤 貴弘 <i>Heidi Kershaw</i>	下村 ゆりか 西本 かなこ <i>Heidi Kershaw</i>	下村 ゆりか 西本 かなこ <i>Heidi Kershaw</i>

「卒業研究」がスタートしました!

3年間の EGG の集大成となる「卒業研究」がいよいよスタートしました。卒業研究は、南高附属中の大きな特色の一つです。4月24日(土)の土曜 EGG では、南高ホールでオリエンテーションが行われ、EGG 担当の茂木先生から、卒業研究の目的や一年間の見通しについて説明がありました。



オリエンテーションの後は、インターネットや図書館を利用し、研究テーマについて情報を集める活動を行いました。附属中学校では、今年度から一人一台、情報端末の「Chromebook」が配付されています。情報を検索する、アンケートをつくる、データを分析する、発表スライドをつくるなど、使い方はさまざま。卒業研究を進める強力なツールとして、Chromebook を存分に活用していきましょう。



卒業研究 一年間のおおまかな流れ(予定)

4月	オリエンテーション、研究領域の選択	10月	調査活動の実施
5月	研究テーマの決定	11月	卒業論文の執筆、アドバイザー面接
6月	研究計画の立案、アドバイザー面接	12月	卒業論文の執筆
7月	研究計画書の提出	1月	卒業論文の完成
8月	調査活動の実施	2月	抄録の提出、発表用スライドの作成
9月	調査活動の実施、中間報告会	3月	卒業研究発表会

